

一九五六年

# 千曲會報

才五六号

昭和三十一年五月二十五日印刷  
昭和三十一年六月一日発行  
信州大学農学部内  
編集人 小山 長雄  
印刷人 宮川 一雄  
印刷所 三光通信社  
信大農学部内  
発行所 社団法人千曲会

(定価1部15円也)

## 生物体に対する

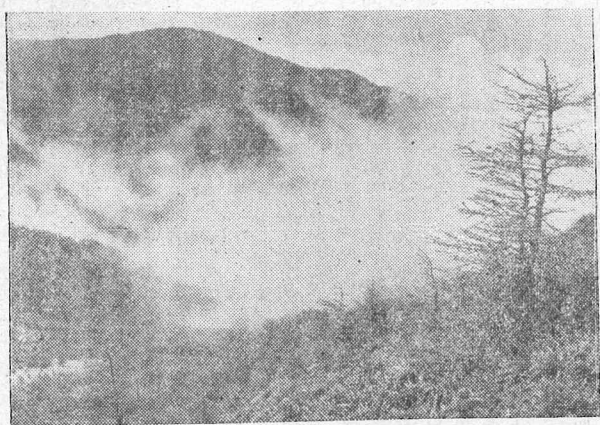
## 放射線的作用

農学博士 蒲 生 俊 典

かなり古くからX線の影響をうけて不知不識の間に、一種の放射線病に罹つていた例は少くない。放射線の発見者であるキュリー夫人も一八九六年頃からウランウムの一種ピッチブレンドからの放射能の研究に着手して以来三十有六年の長い間に、いつの間にかアルファ線の犠牲となられ、再生不能性の悪性貧血症に悩まされて六十七年の光輝ある生涯を閉ぢられたことも有名である。その後原爆の発明者たるフェルミ博士の二助手が一九四四年八月原子炉からの放射線のために急逝したこと、又近くは久保山氏のビキニの灰による病死などが悲しくも放射能症に対する貴重なデータを提供している。さて自然放射線物質たるラジウムなどからは、アルファ線、ベータ線、ガンマ線の三種の放射線が出るが、アルファ線は正の電気をもつたヘリ

ウムの原子核の流れであつて、比較的軽く且つ相当の速度を示しているから、そのエネルギーは可なり大きい。呼吸や食物などから体内に入ると、イオン化作用が最も強い放射線であるといわれる。ベータ線は負の電気を帯びた電子の流れであつて、スピードは著しく速いが質量が軽いので、そのイオン化作用は比較的小さく、併し透過力はアルファ線よりも大である。次にガンマ線は荷電のない極めて透過力の大きい放射線であるから一番危険な線といわれている。即ちイオン質量から三線を比較すると凡そ $\alpha:\beta:\gamma=10,000:100:1$ の比率を示すが、透過力では全く反対に $\alpha:\beta:\gamma=1:100:10,000$ だといわれている。X線も亦ガンマ線によく似た、透過力が大きいので連続的に放射をうけると著しい障害を与える。又中性子もその名の如く荷電のない透過力の極めて大きい放射線であり、

一般的にアルファ線とベータ線の強さはキュリー(c)を単位として測られ、ガンマ線やX線はレントゲン(r)が単位となつてゐる。そして一キュリーの放射物質から、一メートル離れたところから放射線の量は大体〇・五—一・三レントゲンに相当し、又ガイガー計数管の効率を一〇%とすれば一マイクロキュリー( $\mu$ c)の放射能は一離れて毎分三、〇〇〇—四、〇〇〇カウント位に当たるといわれている。



初 夏

坂 口 育 三 (信大光画クラブ)

生理的な被害はガンマ線の数倍だといわれる。之等の放射線の生物体に対する作用の内、最も致命的な働きは電離作用又はイオン化作用によるものであるが、

本年八月のジュネーヴに於ける原子力の平和利用に関する国際会議でも、大いに問題になつたことだが、人体に対する放射能の最大許容量はその決定は却々面倒のようであ

る。通例身体組織一グラムに対し、一レントゲン(r)と同じイオン化を生ずる放射線量を「red (Reagent Equivalent Physical)」と云うが、吾々の身体を包圍する自然界に常時存在してたえず影響している放射能は一日合計で凡そ $3 \times 10^{-4}$  red位だといふ。而も此の程度なら我々の健康上何も支障しないが、X線やガンマ線では一週三〇〇ミリレントゲン(mr)迄は許されるが、一日一〇〇ミリレントゲンを超えると危険である。又アルファ線やベータ線などでは一週〇・三 red 以下が許容量となつてゐる。

一体かゝる最大許容量の決定は、最も感受性の強い白血球の減少と、蚕やドロソフィラで行われている生殖線に対するX線照射による遺伝因子の突然変異可能の放射線量などから判定したものである。然し一時的には比較的少量の放射線を受けたとしても、長期間に亘つて継続的にうける場合は段々とその影響が蓄積されて、次第に生活体の回復力を侵蝕するようになるから、知らず、織らずの間に傷害を蒙ることになる。即ちアルファ線やベータ線では一時間六ミリレントゲン以下ガンマ線では一時間二ミリレントゲン以下が許容量と目されているが、長期に渡る連続照射は危険となるわけである。然らば之等の放射線は生活細胞に如何なる作用を及ぼすかというに、前述したよう

に、所謂電離作用又はイオン化作用によつて、細胞液内の水分に働いて、過酸化水素(H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>)を作ることに因り、細胞内諸酵素作用を制止し、又核と細胞質に作用してデノキシリボ核酸(DNA)の生成を妨げ、従つて細胞の分裂を制止し、放射能が甚だしい時は染色体の裂開を招くことになる。

従つて近年は放射能のイオン化作用に対する理化学的防衛法の研究も相当進んでいる。例えば或種の化合物を注射することに因つて放射線のイオン化作用を緩和するか或は細胞自体の修理作用を促進するか又は酵素作用を放射能から保護することなどを目標として研究が進められてゐる。即ち比較的多く試用されている薬剤はシステアミン(Cysteine)、メルカプタン(Mercaptan)、サイオウレア(Thiourea)、シヤン化曹達などであるが、シヤン化曹達では七〇〇r以下の照射の場合に相当な保護能力を示すが、九〇〇rでは僅か二〇%、一二〇〇rでは無効だといふことである。

尚放射線は特に新生細胞を犯す傾向が強く、従つて生殖器官に於ける生殖細胞、脾臓や骨髓内の新生白血球などの影響が顕著といわれている。蚕の生殖器官や翅脈などにラジウムを照射すると、無翅蛾や無産卵の成虫が得られる。先般私共の実験室で家蚕の第五令初期に〇・〇一%のCs

なつて居りませんが然し帰園以來十年生きて學兄にも通信が出来ると云うこと自体健在を祝さるべきだと悟り相成るべくは不平を云わないようにと心掛けて居ります。

か否か！

小生も既に五十の坂を越えて見ればそろ／＼行末が心細い。然し将来のことを考えなければ現在に不満はない。今日を見て明日を望まなければ其処にも生活があり俸もある。斯うした生き方も無いわけではない。拙宅、長男が北大、次男が東大、それ／＼大学院に籍をおいている。前者は林産学院、後者は建築特に都市計画専攻、長男の大学の卒業テーマは落葉松のバルブ化の問題。色々の都合で先づ大学院に入れたが／＼この四月から／＼将来は職会社方面に入りたい、将来のことになるが学兄のお顔でその方面に紹介して貰えば幸い、長女は銀行勤め、次女は高校二年生、以上近況を報告して御無沙汰のお詫びとします。

(巻一一)

猪坂直一

んで、蚕糸代議士の異名さへあつた位だが、戦後も相変

らす蚕糸業政策の研究に努力し、糸価安定法の中へ「繭」の字を入れて繭糸価安定法と

したのは氏の主張だつたといふように、特に爾後の安定とハル事と異常な熟意をもつて

いる。糸価が安定すれば繭価は自然に安定するから繭に対

する特別の措置はいらないとい  
うのが本法制定に當つての

猪坂直

この程私は小山那太郎氏（農林省繭糸業安定審議会委員）の著述になる「当面の農業政策」という書物を一読したが、そのうち蚕糸業に関する一節は、私自ら蚕糸業人であるだけに特に興味をもつて読んだ。

氏は多半蚕糸業安定策樹立という事を呼び、昭和三年に代議士に当選以來二十年近い代議士生活をこの問題と取組

んで、蚕糸代議士の異名さへあつた位だが、戦後も相變らず蚕糸業政策の研究に努力し、蚕糸安定法の中へ「繭」の字を入れて繭糸業安定法としたのは氏の主張だつたというように、特に繭繭の安定という事に異常な熱意をもつてゐる。糸畑を安定すれば繭繭は自然に安定するから繭に對する特別の措置はいらないといふのが本法制定に當つての

# 千曲会報に

## 感謝するなど

香山清和

五四号の千曲会報は非常に待ち遠しかった。それは自分の投稿した記事があると言う事にもよるがその外にも一つ大きな理由がある。それは今号に内容は更に角、量文でも充分にそこそこととりめもない事を書きなぐつたら思ひがけなく長くなつてしまひ、後から取捨しようとしたが折角之し頭をひねくつて書いたのを今更替へるにしのびず心配しながらも恐る／＼投稿したら案の定長過ぎるから半分は次号廻しにするとのお達しである。どうせ際物で大きい価値のないものを次号廻しになつたら無価値になつてしまふと思ひ頓首再拜之れ努めて頼んだが色よい返事が得られなかつた。それで全部載るか載らないかと云う事が心配で待ち遠しかった訳である。

隔月発行なので三月中旬には来ると予定したが一ヶ月遅れて四月になつて到着した。早速開いて見たら殆んど全部載つていたので漸く安心すると共に編集部御当局の御好意に感謝した次第である。然し一人で多くの紙面を占有した事のでこの点会員諸氏にお詫びする次第である。

の経験から千曲会報なんて誰も読むまいと思つていたのであるがそれは間違つていて案外関心が深い事が分つた次第である。若しそなただすれば筆者の前月号にも書いた予てからの持論である千曲会報毎月発行は絶対に必要である。云々確信を高めた次第である。筆者の意見を寄れたかどうかわからないが来月号から毎月発行にするの事なのでよく読んで。毎月発行の費用は絶対に無駄にはならない。筆者も気をよくして毎月大いに書くこと決心したがサテそろ／＼ネタが尽きかけて来ているので実行出来るかどうか？

当局で原稿が少なくて困ると云うからそれを援ける積りで役にも立たない事を書いたのであるから誰も見ては呉れまい、筆者が唯一の読者であるうと諦めていたのであるが予想に反して読んで呉れた。五三三の記事に対しては「しらゆき」誌第八号で清水良一氏が「千曲会報の新年号を読んだ」と題した短文を書かれた。筆者に届けて呉れたし、五四号の記事に対しては池田正五郎氏と出野正雄氏が早速便りを寄越して呉れた。その外にも筆者の記事を読んだと云う人が幾人も現れた。中には題目だけ見てお世辞に云うた人もあると思うが至つて人の好い筆者はすつかり好い気持ちになつてしまつた。筆者の過去

千曲会報執筆往年の大家出野正雄氏(ペンネーム栗栖超)から次の便りがあり会報に麗筆を振つてくれるそうです。から期して待たれん事を(四月九日付)四月になつても雪が降る。そんな年で京都でもうすう寒いのに、今朝は満開です。二十年前の今日は大連への航海中でした。ひどく揺れる船で大飯を食ひ勝手にパスに入つていゝ気になつていました。四月一日付の千曲会報が届いています。(略)先日九子高校の旅行団が来まして校長松井吉利先生が卒業生たる教員数名をさががえて入浴、「なつかしわす」と来ました。夜教員生徒数名で三条通に見物に出たら何ごとも役にならずなデカイのが迷子になり驚きました。上田の海野町のようになつても歩いて

つたんでせうか。大分泥が溜つたからそろそろ吐きませうかな。

五四号の千曲会報の中に「特別活動資金の募集について」の趣意書と払込口座用紙が同封されていた。誠に已むを得ない措置で私も一度には払込めないから毎月節約之れ努め月賦払いで義務を果す積りでいるが徴収方法について聊か注文がある。

池田君の記事にもある通り会費を正確に納めている一部の者だけが又々特別活動資金を負担する事になつてはならない。この際会費を納めざる人々に対し会費を納めざる人々と同時に活動資金を納めざる人々のように範囲を拡大すべきである。今回の措置を資金収入の目的以外に組織強化に役立たせねばならない。その為めには相当の費用をかけて本部の方々は忙しであるうが手分けをして出掛けて行つて集める位の事をしつて頂きたい。又支会の組織もフルに動員しなればならぬ。本部の人は連が出席して行つたら大抵の人は喜んで出て呉れると思ふ。一度資金を集める具体的方法について本部で役員会を開いてはどうですか？

多くの人の考えだつたし、今一言しているが、大いに樂觀的である。化職恐るゝに足らず、中国の蚕糸業問題なしと云う。氏は曰く、アメリカでは人口一人当り生糸は六匁消費しているが、これは日本人一人当りの三分の一以下に過ぎないから消費の余裕はまだ甚だ多い。アメリカの人口は一億六千万だから一人一人宛宛増せば凡そ一匁に当る。三万俵や五万俵ふやせない道理は力を入れるべし、生糸の真価をアメリカ人が知つたなら消費はいくらでもあふるる筈だ。蚕糸業の前途憂うるに足らずといふのが氏の樂觀論の趣旨である。氏の説を聴いて

佐藤利一先生から退職挨拶状を頂いた。知つての先生方が段々少くなつて母校が他人の家のようになつて行くのは堪らなく淋しい。然し地球は生きてゐるのだから新陳代謝は已むを得ぬことであらう先生とは科が違つていたの

氏はこの小著の中で繭価安定のために強力な法的及び財政的措置の必要を主張する。そして糸価と繭価とは一方だけの力でなく相互作用によつて安定すると説くのである。斯うして繭糸価が安定すれば蚕糸業のような妙味のある仕事は農家としても中小企業者としても類が少い氏は力説する。

氏は蚕糸業の前途に就ても直接教えを受けたのは顯微鏡実習だけの極めて淡い関係であつたが母校に勤めるようになつてからはテニスの相手をして叱られた事や教授会で自説を曲げられぬ先生の面影を記憶している。机帳面な礼儀正し、勝負な、節を曲げない、正しいと思ふ事は後を母校のため、千曲会のため又上田のために大いに働いて頂くようにしなければなら

解されたのも先生、母校の単科大学昇格に最も力を入れたのも先生であつた。先生は上田に永住の御決心と承る。お身体の方は壯者を凌ぐ元氣のように拝見される。お氣持も青年のように若さに溢れていられるようである。余は後を母校のため、千曲会のため又上田のために大いに働いて頂くようにしなければなら



# 君待ち草

真木恵津子

×月×日

今夜は美しい星月夜。お庭のアオキの梢にかかっている月の冷たい色をみてみると、あなたが来て来ます。

あなたは今どんな思いであの月を眺めていらつしやるの

でしよう。私や健男のことを思い、疲れ切つた身体を月にいやしていらつしやるのかしら。よりどころのないやるせない気持ち、つい私をくちくちくさせてしまっています。

「ごぶさたした。とにかく元気でいる。皆も健康に気をつけてるよう」。そんなお手紙を頂いたのが去年の六月。いつに夢らぬあなたらしいお手紙に、私は泣き笑いしながら、何度読み返しました事やら。

そのたびに検閲の眼を逃れた最少の語句で、万感を表わさうとしたあなたのお心が生々しく伝わって来て、私の胸ははりさけるばかり。そして手紙の字の上にあなたのやせ細った顔がいじらしく浮んで来るのでした。ですから私はそれ以来、あなたが帰って来た夢を毎日のように見ているわね。

今朝は健男に隣顔をすえさせましたところ、

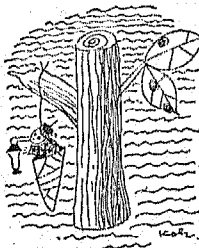
×月×日

近所の方々も「あなたこの頃お元氣になりましたね」などいって下さいました。あれから丁度二年、幾人かの知り合いの方が帰って来られたというのに、あなたはつい帰えられませんでした。

昨日はあなたの写真をお勝手からお座敷の元の位置に戻しました。あなたの写真がお座敷にありますと、健男が余りいたずらをするものですから、一時避難させたんです。でもこの頃「パパはどこ？」と健男にたずねましても一向お感じなしでおるものですから「これは大変パパを忘れさせてしまつては」と元の位置に戻したわけなのです。

いつの間にかあなたをパパと呼ぶようになって、あなたを私を何と思われるかしら。結婚当時、恥かしくて「あなた」のの字がどうしても口に出ず「あんた」とつい呼びましたら「おい、あんたなんて呼ぶなよ、あんたなんていうのは四十過ぎからで涙山」といわれたことがありましたわね。

「ある所の娘が、勤め先の男と関係して、つい子供がでさる病院に、おろしに入院した。初めてのことで娘も後産のおりないのを知らないでいたために、それが原因で亡くなつてしまった。男は病院の者に口止めをして、その娘の家族には鯛出で死んだと伝え、弔式にも立会わずに、どこかへ姿をくらました」とそんな話を聞いてきました。世の中にはひどい男もいるものだとおばさんいいましたが、私は女の人ももう少ししつかりしないでとつく／＼思いました。



×月×日

夕方より降り始めた雨が、朝方になつてもな／＼止みそうもありません。お昼近くまで雨なりにも晴間を見せました。お隣りのおばさんがお茶を飲みに来

た。近所の方々も「あなたこの頃お元氣になりましたね」などいって下さいました。あれから丁度二年、幾人かの知り合いの方が帰って来られたというのに、あなたはつい帰えられませんでした。

昨日はあなたの写真をお勝手からお座敷の元の位置に戻しました。あなたの写真がお座敷にありますと、健男が余りいたずらをするものですから、一時避難させたんです。でもこの頃「パパはどこ？」と健男にたずねましても一向お感じなしでおるものですから「これは大変パパを忘れさせてしまつては」と元の位置に戻したわけなのです。

いつの間にかあなたをパパと呼ぶようになって、あなたを私を何と思われるかしら。結婚当時、恥かしくて「あなた」のの字がどうしても口に出ず「あんた」とつい呼びましたら「おい、あんたなんて呼ぶなよ、あんたなんていうのは四十過ぎからで涙山」といわれたことがありましたわね。

「ある所の娘が、勤め先の男と関係して、つい子供がでさる病院に、おろしに入院した。初めてのことで娘も後産のおりないのを知らないでいたために、それが原因で亡くなつてしまった。男は病院の者に口止めをして、その娘の家族には鯛出で死んだと伝え、弔式にも立会わずに、どこかへ姿をくらました」とそんな話を聞いてきました。世の中にはひどい男もいるものだとおばさんいいましたが、私は女の人ももう少ししつかりしないでとつく／＼思いました。

×月×日

夕方、千葉の松子さんがお嬢さんを連れてお見えになりました。御主人は友人の人からの伝言で、ハバロスクで亡くなつてしまったとのことでした。

「こんなことなら、一生私は主人の死報を聞かないで、あてもなく待つていた方がよかつたんですわ。そういわれた松子さんのお気持ちが私にはよく判りまして思わず、もらい泣きをしてしまいました。丁度表から帰って来た健男を、ごらんになつて、

「このあたりはお父さんにそっくりね」と目の附近を指される、もちろん小さいパパですもの似ているのが当り前ですわ。今夜は何となくお化粧がしたくなつて鏡に向いました。こんな時、私をじつと見つめて「えらく、おめかしですわね」と頬の一つもつついてくれるあなたが欲しい。要領の下手なあなたは随分苦勞なさいているのでしよう。想像はつていそに動いていきます。健男は今いびきを立ててねています。

父ちゃんはお船で来るよと人ごとに、いいふらす子を、ぐつと抱きしむ下手くそな歌、あなたに見せたら笑われるでしょうね。

「どうしました？おじさん。具合はどうだね？」と口を切ります。誰か？「おじさんはボカシとしているのです。」「あんたがさ。」「え？わしが？わしが一体何をしました？」まるで万才みたい。おじさんはふら／＼と草履をはかずに立ち去りました。テンカンつて初めて見ましたが、妙なものですのね。

×月×日

あなたの好きな山本有三先生の小説にもたしかあやう人が出て来るのがありました。が、なんの因果か、本当に気の毒になつてしまっています。

夜に入つて底の抜けるような雨で、三度ばかり停電。停電中、机にうつぶせている間うとう／＼したらエミ子さん一家と妹の夢を見ました。妹をエミ子さんの令兄の栄治さんに貰つて頂けないかしら。栄治さんはあなたの大の仲好しです。栄治さんのような方に嫁いだら妹もさぞ幸でしょうに。私たちはありふれた一というよりむしろ無茶苦茶な結婚でしたが、だつて見合もしないで決められた結婚なんて、今時誰も信じませんわ。妹には交際も充つてやらせたいものですわ。といつてあなたと私の結婚は結局成功で、私は幸福の上になしですが、でもこうしてあなたと何年も離れていまして、結婚後の思い出のみでなく、結婚前の思い出も欲しくなつて来るのです。

明日は、私達の結婚記念日

「どうしました？おじさん。具合はどうだね？」と口を切ります。誰か？「おじさんはボカシとしているのです。」「あんたがさ。」「え？わしが？わしが一体何をしました？」まるで万才みたい。おじさんはふら／＼と草履をはかずに立ち去りました。テンカンつて初めて見ましたが、妙なものですのね。

あなたの好きな山本有三先生の小説にもたしかあやう人が出て来るのがありました。が、なんの因果か、本当に気の毒になつてしまっています。

×月×日

あなたの好きな山本有三先生の小説にもたしかあやう人が出て来るのがありました。が、なんの因果か、本当に気の毒になつてしまっています。

夜に入つて底の抜けるような雨で、三度ばかり停電。停電中、机にうつぶせている間うとう／＼したらエミ子さん一家と妹の夢を見ました。妹をエミ子さんの令兄の栄治さんに貰つて頂けないかしら。栄治さんはあなたの大の仲好しです。栄治さんのような方に嫁いだら妹もさぞ幸でしょうに。私たちはありふれた一というよりむしろ無茶苦茶な結婚でしたが、だつて見合もしないで決められた結婚なんて、今時誰も信じませんわ。妹には交際も充つてやらせたいものですわ。といつてあなたと私の結婚は結局成功で、私は幸福の上になしですが、でもこうしてあなたと何年も離れていまして、結婚後の思い出のみでなく、結婚前の思い出も欲しくなつて来るのです。

明日は、私達の結婚記念日

「どうしました？おじさん。具合はどうだね？」と口を切ります。誰か？「おじさんはボカシとしているのです。」「あんたがさ。」「え？わしが？わしが一体何をしました？」まるで万才みたい。おじさんはふら／＼と草履をはかずに立ち去りました。テンカンつて初めて見ましたが、妙なものですのね。

あなたの好きな山本有三先生の小説にもたしかあやう人が出て来るのがありました。が、なんの因果か、本当に気の毒になつてしまっています。



ですわね。あなたもきつと思  
い出しておられるでしょうね  
×月×日  
昼頃、あなたの友達の秋雄  
さんが青森から帰省して立寄  
つていかれました。私があな  
たからの手紙を見せると、  
「ふうん、字が大分下手にな  
ったなあ。苦勞しているんだ  
な」といわれました。私は  
急に哀しくなつて思わず涙ぐ

んでしまいました。でも秋雄  
さんは近く交渉が再開される  
から今年中にはきつと帰つて  
来るよといわれました。  
私は占いつて大きらいです  
けど、明日でも見て貰おうか  
しら。  
×月×日  
ああ、どう／＼あなたが帰  
つて来られる。婦人会の座談  
会から帰つて来ましたら、あ

## 誌上のサロン

石倉新十郎

意見をのべるのに講堂會議  
室食堂などでは身も心も容儀  
を正して話すから聞く方でも  
自然くつるぎない。談話室な  
ら煙草をすい茶を飲みながら  
話すから氣楽に意見がのべら  
れる。千曲会報にもサロン欄  
を設けて自由に意見をのべら  
れ易くしたらと思ひますがど  
うかしら。  
先づ茶のみ話しを一つ申し  
てみましょう。  
五月紙上に唐沢氏の日本シ  
ルクセンターのご意見がのつ  
ていたが、実現の問題はとに  
かく之は確に重要問題だと思  
いますね。私も一昨年だつた  
か東京千曲会の席上で同じ主  
旨を簡単に話したように思ひ  
ます。之からの蚕糸業に関す  
る限り、研究面でも技術者養  
成また経営側でもいや成なし  
にこうした方向に進まなけれ  
ばならないと思ひますね。学

者教授技術者経営者を問わず  
必ず心をこめて置いてかゝら  
ねばならないでしょう。だが  
案外其の立場にある人達は  
しるびにしているのじやないか  
ら。ことに金のかゝる事で  
はね。唐沢氏の具体案で実現  
されれば真に結構だが現代の  
情勢では可なり困難に直面す  
るだらうと察しますよ。古い  
事を云えば学校創立当時日本  
産生糸の大部分を製品として  
輸出する理想をもつて熱を揚  
げたものが今もつて実現に  
ならないし、養蚕飼育機械も  
三十年経ていまだに前途もこ  
の有様ですからね。私一個が  
いかに熱意に燃えても周囲の  
状況が伴わなかつたからだめ  
でした。母校や千曲会の若返  
り問題も同様で先づ一般情勢  
を之れに誘導する強い力を振  
興させるほかないでしょう。  
(賛助会員)

なた帰るの公報入電。  
「よかつたわね」と人ごとに  
いわれる。私も押えていた涙  
がぐつと出て来てどうするこ  
ともできない。仏だんにお明  
かりをやら、写真を片づける  
けら、洋服を整えるやら、む  
やみに忙しい。余りはしやい  
ではみつともないと自分の心  
にいきかしても、思わず笑  
い声が出てしまふ。  
電報を打つ。  
電話をかける。  
眼の色も変りはしないかし  
ら。

ああ、あなたはどんなお顔  
でお帰えりになるのかしら。  
健男はあなたに会つて何とい  
うかしら。私は何てあなたに  
呼びかけたらいのかしら。  
むやみに心臓が躍る。むやみ  
に咽喉が渇く。そしてむやみ  
に顔がはてる。

## 独 流

K M

月が泣いていた。  
星も泣いていた。  
独流は  
地の果へ容赦なく總てを  
流し去つて行つた。  
哀れやかなしみを  
せせら笑ひながら  
独流は得意気に狂つていた  
そして、みんなは  
唯泣く丈だつた。

## 同級会二席

林 貞 三

其の一、四月二十八日富貴  
での宴会から呼出されて車に  
乗つた、すばらしい輸入車に  
新品で東京方面から乗て来た  
佐久間誠人君松山和夫君前橋  
で拾つた白沢今朝雄君上田で  
出迎えた大島清君等約十六  
回の面々滑るように戸倉温泉  
は千曲館へとか云うてあなたが  
左へ曲つて右へ折れ又右へ、  
今でも何の辺か判らない、何  
んでも長野市権堂の深秀楼の  
経営だそうだ、成る程東京辺  
の人はこうした所を御存じな  
のだ、何処迄頭が働くのか苦  
々には見当がつかない其処が  
彼等をして今日あしめるの  
も知れない。往年の茶目話  
も尽きあんなまでとて寝たが  
後は何うなと知つた事でない  
翌朝大掃除中の拙宅を尋ね  
てくれ「畳五枚づつ、御手伝し  
ましよう」と、真当ですかと  
云ふ家内に、私は人を持たせ  
ておきましたから後の連中  
六枚廻運ばせて下さい」とさ  
只一つ九子の兄きに敬意を表  
して帰らねばならない、兄キ  
はこの歳になつても兄キ振る  
ので厭だが、この言葉は率直  
な味あふべき事だと思つた。  
其の二、絲十三回大正最後  
の卒業生塚政吾君から卒業し  
て始めてのクラス会を卒業生  
を戴いた。五月五日は科職員  
旅行不在の爲め娘達にサービ  
スさせた、佐藤孝子男君は前

日に上田着、三十年振りで上  
田の交方を懐しく隅々迄見廻  
り、畠山茂忠太君(神織工業  
会社取締役)は夜行で東京へ  
又夜行で上田へ先着、二時半  
頃になると和田嶺を越へて手  
塚政吾君(諏訪倉庫会社専務  
取締役)山田芳一君(恵南蚕  
糸協同会社長)御子榮義之  
君(御子榮製絲工場主)到着  
三時頃には汽車で彼未武猪君  
(東洋ナイロン会社取締役工  
場長)小平光雄君(生絲貿易  
協会)村田階宣君(昭栄製絲  
会社取締役工務部長)来り、  
高橋誠君(三菱商事生絲部次  
長)は諏訪倉庫上田支店より  
電話で参加計九名。あオメイ  
誰だ、本物の級長かい、え  
らく歳をとつたなあ云つた  
挨拶。

車で別所花屋に到り宴會、  
手塚君級長代理として形破り  
のユーモアな開会の挨拶、後  
は悪友が集つて旧悪を語る会  
合、童心に帰つて只あつはつ  
けに聴いてゐるようだ。  
○佐藤君、卒業の時就職の第  
二志望を書かず叱られた、何  
うあつても採用して戴かねば  
ならぬその心情が旭シルクの  
小田社長に買はれて芽度採用  
決定。此度は病妻から又とな  
い機会だから行きなさいと云  
われて出席、良い奥さんであ  
り彼が妻君思である。  
○畠山君、今迄苦勞のし続け  
だ、歳以上年寄らしき見ゆる  
ものその為だ、然し云ふ言に  
は信念が満ちてゐる、会社の  
方も一年後には見違るようにな  
ると云う嬉しいお話、健康  
を望む。  
○手塚君、今回の司会役、大  
きな口を開いてわつはつはと  
笑ひながら会の運び方と事務  
処理のうまさは敬服した。  
○山田君、紅顔の美少年と女  
中は云ふ、学生時代日曜學校  
の校長さんであつた彼が足  
飛に今日の集りになつた為か  
芸級の相異からか、それとも  
飲み足らぬ為か、今日はドジ  
ヨウ拘にその片鱗をのぞかせ  
ただけであつた。  
○御子榮君、三井物産で月給  
取るよりも七釜の座繰の方が  
身が多いと云ふ所に彼の本  
領が見出された。  
○彼未君、体を十八貫余り堂  
々たる貫録を示す、切れ味は  
すごい、重役諸君を田舎重役  
扱する辺り学生時代と一寸も  
變つて居らない。  
○小平君、何も彼も心得てあ  
ながら笑顔で再出発さうと、若  
さが大成の基をなすだらう。  
○村田君、何んでも理論づけ  
なければ気が済まぬらしい。  
仲々学があるとか誰かが云つ  
た。テニスの御蔭で助かつた  
お話を始めて何つた。  
○高橋君、「先生が郡長へ推  
薦してくれたのはつけ足でし  
たね」と云ふ、一年志願で聯  
隊に於ては常に一番、南方へ  
出征して何んとか司令官(卒  
業生中最高級大尉様勝てたよ  
う吹きたとばされたことによ  
う、此の元氣と明かきと人に  
好かれる、好漢卒業式の晩は  
無傷であつたと佐藤君が証明  
した。

# 繊維学部今後の在り方

化学四年 後 藤 勲

「繊維学部今後の在り方」と云う提示題目が繊維学部の外形的・形式的なものに対する単なる方向を意味するの、又は内部的なもの、変革に対する意図をも含むものであるのかはつきり解らないが私は一応両方について私の考えをまとめて見たいと思う。

この学校が専門学校から新制大学となつてもう四、五年になる。地方大学の一つとして世のいろ／＼な批判をあびながらも、毎年百名近くの卒業生を社会に送り出していることは事実である。内容はともかくも、形式的には大学卒業の資格で他の一流大学の卒業生と肩を並べて行くのは果たして我々にとつて幸であるのか、不幸であるのか、今のところ私には解らない。

誰しも自分の家庭のいざこざや、貧困の状態を他人に喋つたり、吹聴するのは快しとはしないが、我々の学校の内容は専門学校当時のそれと何ら変わる所がないのだ。いや、考え方によつては専門学校当時よりもつと悪く、我々の実力は低下しているかもしれない。

生はんかな教養課程を大学卒業の単位修得のために時間を多くさいていることは、こうした考えの一つの論拠ともなりかねないのだ。然しこう

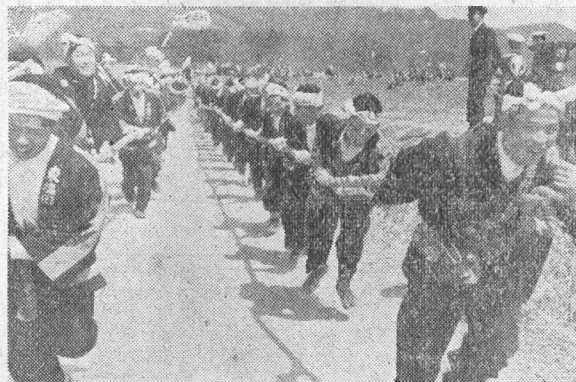
した一般論は我々繊維学部に限った現象ではなく、他の多くの地方大学にも共通に見られるものであるから、今更論ずる必要はないが、全ての問題がこうした一般論から来る現象に帰着しているとなると考えざるを得ない。

焦点を我々繊維学部にしほつて考えてみよう。確か我々の学校にも良い点はある。勉学の環境に恵まれている。就職は先生方が一人一人親のようになつて心配して下さり、その率は他の学校に比べて決して遜色のあるものではない。その他いろいろ考へればあるだろう。しかし、我々はこんなことだけに甘んじているわけにはいかないのである。余りにも欠点が多すぎ、こんな二、三の良い点をほかに打ち消して下うからである。これらの欠点を一つ一つ丹念に書き並べたら紙が幾枚あつても足りないかもしれない。私はそれらの中で特に「繊維学部の在り方」を論ずるのにとつても必要なのだけけこゝに書き出してみたいと思う。

信大繊維学部として五年も経つた今日、私はいまだにすつきりして割り切れないもの一つを感じている。それは伝統の問題である。伝統とは一

体何であらう。伝統とは教育の場になくはならぬ「形成」である。我々は伝統によつて形成され、人間を作るのだとも云える。伝統には良いものも悪いものもある。形となつて現われたものや、雰囲気となつてその学校を色づけているものもある。

の我々の悪い伝統の一つと云えよう。いづれにしても我々の現在持つている伝統について云えることは、それが上田蚕専時代のそれを引き継いでいるにすぎないと言ふことだ。大学となつた今日、我々はいつまでも専門学校当時の伝統を持ち続けている必要はない。我々は大学としての伝



## 御 柱 風 景

(小県郡塩田町 生島足島神社)

金 井 正 一 (信大光画クラブ)

を受け、その伝統に染まつていゝ。我々は一体どんな伝統に染まり、形成されているのだらうか。これは一口に云い切れるものではない。運動会の「応援」も形に現われた我々の伝統の一つと云えるかもしれない。我々が温和しく活動やクラブ活動に不活潑な

統を新しく築き上げて行くべきなのだ。大学になつてから五年にもなるのに、今、我々の持つている伝統は、我々の心のうちから求め、欲するものではなく、内容と形式のマッチせぬチグハグなものにすぎない。毎年行われる、運動会の「応援」にも我々学生の間に不適当として多くの反対

者を出している。これは何を意味しているのだらうか。我々はそうしたものに心の要求を感じず矛盾を感じているからである。我々はこの「応援」にみられる、いわゆる専門学校のバンカラの類に興味が失つてゐるのだ。こうした事実は忠実な結果となつて表われている。我々がいくらかおもしろおかしく踊りまわつても、これを観るものは正しくその心のうちに読みとつて了つてゐる。こうして「応援」は昔ほど歓迎されなくなつた。そしてそれは当然なのである。

例をあげればまだいくらかもある。要するに我々は大學生という自覚に目覚めながら、一方に於て絶えず昔の専門学校と云ふ形式と伝統に苦しめられ板ばさみとなつてゐるのである。そうした中で我々のあるものは虚無的な考えをもつようになり、あるものは徹底的なエゴイストになる。かえつて虚無的な考えを持ったぬ学生こそ思慮のなさを疑いたくなるのである。

こうした意味で我々は大学生としての自覚があつても、大學生として我々を表現する場を失つた、いわゆるニヒリストであり、それが我々の特徴と云えるかもしれない。この学校には色がない。学生の一一人に共通な繊維学部としての色がないのだ。

も、一般教養の知識がないものは大學生として価値がない専門学校や短期大の学生らしい教養を身につけてゆくことは当然のことである。所が現在の我々はどうかである。学校では一般教養課程を極度に軽視してゐるやうに思われる。一年二年で専門科目の取る率は年と共に増え、教養課程の講座は減少してゐる。又数少ない語学の先生が全学年を受けもち、一人の数学の教授が多くの授業時間を持ち、多くの異なる方面の講座を担当している。ゼミナール式の授業などはおろか、大きな講堂のような教室に悪い時は二年生をも合併して一遍に講義をしている。こんをことで何で我々の一般教養に対する関心が高まり、知識が身につくことであらう。

これも予算の都合とか、専門課程を少しでも多く教えるための苦肉策と云われれば一言もない。学生は唯一「単位をとり、大學生卒業に差支えないために」教養課程の授業に出席し、ノートをとるのだ。

教授の先生方について一言触れさせて戴こう。決して悪口が云つたり、非難がましいことを叩いて悦に入るような積りはないが、公平に正しい目でこの論文を書くならば、多少は先生方の批評もせねばならないと思つてゐる。はたして私の考えが正しいものであるかどうか、確信はないが常日頃感じているものをその

まゝ書いてみたい。  
●先づ云えることは、この学校の先生方の大部分が非常に利己主義者である云うことだ。これは決して悪いとは云えないが、我々学生にとつては非常な打撃だと申さねばなるまい。我々一人一人の就職を心配し、面倒をみてくれている先生方に対し、利己主義と云うのは一寸おかしな言い方だが、私はそうした意味の利己主義と云っているのではない。つまり先生方の大部分が学生を理解してくれない、いや、理解してくれようとしていない事なのである。悪く云えば、「たい頭」で我々をおさえつけようとし、圧迫するのだとも云えるし、良く云えば「絶えず大人の利己的な態度」で我々の行動を監視するのである。我々青年が考え行動することに対して全て大人と云う尺度で善悪を判断されようとするのだ。例えば、我々が「学生運動」を行わないのは「温和しくて良い学生」であるからと思ひ、我々が就職のため、試験のための勉強を怠らなければ「模範的な学生」として賛辞をおくるのである。勿論大学は学問をする所だ、学問をせぬ学生は模範的でもなければ良い学生でもない。然し学問にもいろいろあると思う。大学である。自分の考え、自分の位置からのみ物事を判断し、善悪を判断する利己主義は我々青年から応々にして自由をうばう事がある。東京の或る大学の

教授のように敢えて学生と一緒にたつてメーデーに参加したりする必要はないが、もつと学生の気持ちを理解するようになつて欲しいものである。次にあげられるべき大きな欠陥に各科目に於けるつまらぬ差別感情である。例えば私は化学科であるのでいつも感ずることが、化学科の学生の特つた優越感である。それをおだてあげる一部の先生方の考え方である。何も入学試験に少しぐらい良い点をとつて入学したからと云つて優越感と懷くのはつまらぬことだ。問題はこうしたことから各科目の間の調和が破れつづらぬ対立感情の原因となつて学問を暗くすることがあるからである。最後に「学生が母校を愛する気持をもつていないような気がする」と思うのは私の一方的な考え方である。私は私の一方的な考え方である。全然母校に対する関心を持たず、唯自分だけ好きな学問をし、卒業すれば良いなどと考える人達が案外多く居るのではなからうか。高校時代に校友会活動や何かで活躍していた人が、この学校に来て全然何もなくなつたり変に肩身の狭い思いをしている学生もおりはしないだろうか。こうしたことから何で立派な伝統を作る気運が生れ、学校を愛しきしようとする意識が生ずると云えよう。然しこうしたことも決して結果論だけを見るだけに停まらず、その原因となるものをも追求

してみろべきであらう。さていよいよ本論に入るときか来た。組織維新部の今後の在り方についてつと具体的な考へてみよう。  
●教養課程の統合  
私はこれに対して両手を上げて賛成したい。大学である以上、我々は教養課程に関心をもち、その充実を願うのはしてゐるべきであらう。さていよいよ本論に入るときか来た。組織維新部の今後の在り方についてつと具体的な考へてみよう。  
●教養課程の統合  
私はこれに対して両手を上げて賛成したい。大学である以上、我々は教養課程に関心をもち、その充実を願うのはしてゐるべきであらう。さていよいよ本論に入るときか来た。組織維新部の今後の在り方についてつと具体的な考へてみよう。

葦

倫子

葦よ名もなき葦と並びいて親しい心をよせよう  
春の来るのを待つてゐるのか  
お前は前は何日も威張らない強情者の来る時は  
お前は低く背を向ける  
お前は前は何日も丁重だ  
誰にも頭を下げて居ても  
それでも折れる時がある  
葦よ強くあれ  
葦よ前は根の為に折れよ  
やがて又春が来るのだ  
お前は香は終つたのだ  
きつとお前は淋しがり  
お前は私に聞かだろ  
もうじき春が来るのか  
もうじき春が来るだろう  
（葦二在学）

先にも述べた通りだ。生はんかな教養課程を三年や四年までやるよりも、一年と二年で区切りをつけて仕舞うことは誰としても異論のない筈である。単科大学昇格の夢のような望みをいつまでも持ち続け独立してやつて行こうとする考えは、余りにも非現実的な考え方と云わざるを得ない。  
●入試について  
入試についての考へも前に述べた統合に係るものであるが、現在の我々の学校のそれについて一言のべてみたい。入学試験制度について英・数・理の三科目による試験制度云々……ということがあつたが、それはどういふ意味なのだろう。競争率を増やすために科目を少くすると、特に理科系に優れた人を抜擢するためとか云われていたが、幸い今年も実現されなかつたようだ。然し又こんな案が飛び出してこないとも限らない。賢明なる学校当局として一部の科目で受験させることによつてかえつて受験生の質を低下させることに気が付かないのであらうか。経費の節約とか、問題出題者の先生方に適当な方が居られぬと云うのなら話が分るが、こうすることによつて、よりよい選考が出来ると思つて、誤りだ。理科に秀でた社会科にうとい学生は決して頭が良いとは云えないからだ。数学が出来て国語の苦手な学生に於て将来社会をリードする指導者となる素質があると云えよう。

試験制度について、もう一つ考へたい事は、各科目の対立感情、優越感情を失くする方法として試験制度を改革してはどんなものだろうか。これに対するはつきりとした具体案は考へ出せないが例えは各科別入学試験を撤ばいして一年か二年の過程の終了の時に、各自の希望と成績に応じて適当に分ける事が出来ないものだろうか。普通一生懸命勉強していたものが自分の希望する科へ優先的に入れることは、唯一一回の入試で決められるよりずっと合理的であり自然である。それと同時に最初の一年、二年の間は科と云う意味がなく、そうしたことから来る対立感情も幾分か緩和されると考へるのは間違いないであらうか。  
●一般教養課程  
これは前に何回も述べたことだが、もつと充実するように取計らつてもらいたいものだ。  
●校友会組織  
誰も知る様に、我々の校友会程低調で不活潑なものはない。高校の方がずっと活潑だと思ふ。何故であらうか。就職のための学校と云う一枚看板のみとらわれて、学生生活を楽しくするということや気分が持たないからであらうか。校友会各社の活動はこの頃だん／＼と目立って来たようだが、まだ一部の人間のみに限られて一般に普及していない。学生時代に趣味をもつことは非常に有意義なことであるし、又スポーツマンシップやワグの男らしさや社会性を身につけることは工場に就職してからでもその人に大

きな影響を及ぼすことだと思ふ。そうした趣味やスポーツは自分一人でやっていたりもするが、そうでないものもある。自分一人で出来るようなものでも他の同好の人と志を共にしていることは楽しいことでもあるし、団体生活のよい訓練にもなる。そうしたものの最も良い機関として学友会の存在意義があるのではなからうか。哲学の好きな人は哲学班を作つて哲学するのよいし、文学の愛好者があつたつて文芸班を組織するのもよいことだ、いづれにしても考へねばならぬ事は学友会組織の充実にある。少数の人達のみによつて動かされる学友会であつてはならない。多くの無関心な会員を持つ学友会であつてもならない。中心となるべき職務は皆でもりたゞ、いくつかにするべきだ。学友会財産の管理をもつと徹底し、会計をはつきりさせ会員全部の納得のいくようにすることも必要なことである。

### 講義方法について

昔から行われている。ノート筆記の講義方法に多分に疑問があると思う。この問題については、我々よりも、直接当事者である先生方がよく研究されていると思うので改めて論ずることもないと思うが講義をうける立場としてどうあるか述べて置かう。先述述べたノート筆記の講義は一長一短がある。先づ先生

が楽である。ノートをあとで読み返した時、先生の云う事が寸分違はずその儘ノートにおさまっているのであるからいつ勉強しても、内容の解釈が困難であつたり理解に苦しむようなことはない。それを同時に、ノートをとつていゝ学生は非常に苦勞であるし頭を使ひない速記者のようなものと化してしまふ。考へようとしても、考へる余裕がないからである。又どうしても口で云うことをノートにとるのであるから、同じ内容を十分に云い尽くせることが二十分も三十分もかゝつて不経済である。いつそのことあらかじめ講義することをプリントに印刷してつづてくれればと考へてみるとノート筆記的な講義はあまり賛成出来ないような気がする。それだからといつて、教科書を手えられ講義されたのでは、興味がわいてこない。いづれにしても講義方法は一すじ細でいくつうな簡単なものではなく、先生方の苦勞を察して余りあるが、余り上手でない先生方の講義を一時間いや長い時は二時間も経て聴かねばならぬ学生側の努力も察してはならないものである。我々の学校に先生方が二三居られるように思うが、そうした先生方の講義は欠席者も少ないという現象を一応考へてみる必要があると思う。新聞を読みながら

飯を食ふと應に於て間違つたものを口に入れたり、何が書いてあるのが分らなかつたりする。これと同じように、非常な速度でペンをはしらせながら、頭で考へることは困難なことだ。私が名講義と思う先生は決して学生にノート筆記を強制しない。それかいつてノートをとらないわけではなく自発的に自分で解放したようにノートをとる。一生懸命書き、先生と一語になつて考へ、筆記したノートを記憶再生のきつかにししかずない。欠講してブランクを埋めるわけにいかないの欠講するわけにもいかないし、講義内容も面白いので欠講するものもない実情だ。こうした講義方法がこれから新教育に当てはまつたよい方法なのではないだろうか。

### 設備について

設備が貧弱であることは云う迄もない。実験器具、薬品の不足は勿論のこと、サークル班活動に於ける設備も不十分である。音楽班にピアノがないこと、美術班にアトリエのないこと、各班に部屋が不足していることなど数えればきりが無い。然し部屋の問題だけは現在の学校でもいくらか解放策が見出せそうなのが、使つていない建物がある。所々にみられるからである。そうしたものを学生のために解放することは出来ないのであらうか。ピアノ等は是非とも一台備へておきたいものである。

### 就職について

この学校の唯一の魅力とも云える就職について、その幹旋に問題がないだろうか。勿論成績のよいものがよい就職口を幹旋してもらうことは悪いとは云わないが、そうした就職の幹旋を種に学生を点とり虫のような気分追いやりたり、点にこそせよさせるのは罪だと思ふ。学生は誰でもとりだてて云われなくもその事ぐらひは知つてゐる。然し学校当局として考へてもらいたいことは、余り成績結果に頼りすぎてもらつては困ると云うことである。それ以外に評価の仕様がいかにも不合理で、技術者はその人間の総合的価値によつてその適不適が決められるからだ。その中には学校の成績もあるだろうが、それは単なるその一部にすぎないからだ。終りに思いつく儘に書き綴つてみたが、矛盾だらけのような気がしてならない。我々には余りに問題が難解すぎるし、立場が悪い。攻撃的なことも書かざるを得なかつたことをこゝでお詫する。

### 学内人事

新任 講師 横井 政時  
名古屋大学理学部より  
化学担当 教養学科理科  
所属(五月一日附)  
辞職 教授 窪田 潤  
(五月二日附)

## 本会日誌 (四月分)

本会日誌については其後と絶えてしましたが、四月分から掲げる事にいたしました。御了承願います。

◇四月七日(土)：本会理事会開催、母校創立五十周年記念事業計画準備委員会等について  
日絹糸会社 代議員 北原喜昌(壇生町 杭瀬下区)

◇四月八日(日)：更埴千曲会總會開催、本部より中島理事出席  
幹事長 塚田典次(坂城町四ツ谷)  
副幹事長 伊藤嘉三郎(篠ノ井 町 伊藤書店)

尚三十一年度役員は左記の通りに決定。  
支会長 茂原重雄(松代町 原松代製糸所)  
副支会長 田口栄治(篠ノ井町 野口理事長出席)

◇四月二十二日(日)：竜川千曲会總會。田口理事出席  
◇四月二十七日(金)：神奈川千曲会、桜木町駅前日晴様に開催、野口理事長出席。

### ◇トピック◇

本会で、母校五十周年記念事業計画立案中の報を聞いて、いち早く蚕八回の中川三郎氏から、金壹万円の御寄附がありました。深謝いたします。

### 御見舞御礼

私入院加療中は色々とお世話話様になりその上御丁寧な御見舞を頂き厚く御礼申し上げます。おかげ様で殆んど全快し再起の機会を待つて居ります。こゝに会報を借りて御礼少々御挨拶申し上げます。

昭和三十一年五月  
小島郡本原村赤井

小林 勝

昭和二十九年庚  
卒業生 御一同様



## 卒業生と新入生

會報五五号から

第四回卒業生諸君御卒業お

君の動靜がわつていたので、  
ひまにまかせて一人々々の動  
きを知ることが出来て懐しく  
思われた反面不思議に母校に  
籍をおく諸君の多いのに驚  
いた。益三二名中一名、糸二  
五名中一〇名、紡二八名中八  
名、化二三名中四名、合計一  
〇七名中二三名と云えば約三  
分の一の諸君に當る。

これにはいろいろの事情も  
あることだらうし、其の後に  
も会社や官庁などに就職した  
諸君も居られると聞けば、こ  
の数字もその後変わつてい

てゐる新卒諸君の動靜、其にし  
後の動きを知りたい。新卒諸  
君の前途に幸多かれと祈る。

三年度新入生諸君、舞臺を  
突破してよくぞ御入学、御芽出  
度う！ 諸君らの仲間には意外  
に県外生が多い。南は鹿児島  
島県から一名、北は北海道から  
二名、文字通り日本全土から  
入学されたわけて、県外生は  
番二五名中八名、糸二七名  
中一六名、紡二六名中七名、  
化三四名中一名で合計一  
一二名中四二名これも約三  
分の一に當る（別科除く）。

県内を出身別列に若干ひろ

母校創立五十周年記念事

業計畫準備委員決まる

標記については左の通り野口  
監事長から、それ／＼委嘱さ  
れました。何卒御了承願いま  
す。

に存じますが、まげて御承諾  
下さいまして宜しく御願ひ申  
上げます。

敬白

追て六月中旬頃第一回準備

謹啓 新緑の候愈々御健祥慶  
賀至極に存じます。

陳者本会の運営強化に關しましては、平素多大の御配慮を蒙り有難く厚く御礼申し上げます。

さて、昨年十一月の本会定期総会に決議された母校創立五十周年記念事業計画について理事会を開きました。処、貴下を左記の通り準備委員に御奉勸申し上げ、この記念事業計画作成のため御尽力願うことになりました。就ては、公私ともに御多忙の折柄誠に恐縮

拡大役員会

と地元松原高(旧上中)二七  
名。次が長野北高(旧長中)  
六名、小県蠶田高、屋代東  
旧屋中)四名、野沢北高(旧  
野中)三名、松本深志高(旧  
松中)四名、飯田高松高(旧  
飯中)三名、須坂西高(旧須  
坂中)四名、この外女子三名な  
どとなつており、県内にして  
も東北信五四名、中南信一六  
名となつて広く県内、県外へ  
から入学されたことは母校将来  
の爲にも頼もしき次第。

(蚕三七生)

本会の会員もようやくその数を増して来たので、これが運営や、今年迄各階層、即ち科別や、年令差等縦横あらゆる面の会員の気持ちを集約勘案して、事を運ばねばならない処から昨年十一月の本会定期總會開催以来、事を議する上には、母校内の全会員及び小地区教氏に幹事を委嘱して、理事会等開催の際には必ず出席して頂く事にして、これを拡大役員会と名づけております。ですから、本部で理事会と云えば、右拡大役員会を照会したものと御承知を願います。既にこの拡大役員会を開くこと数回に及んでおり、別項母校五十年記念事業計画の準備委員委嘱等について、そこで審議しております。

佐藤利一  
春太郎  
兩先生の

# 退官記念資金募集について

前号に発表致しました処、早速多数会員からの応募があり、目下事務當局で受付整理中であります。期限は六月末日迄となつていますから趣旨御賛同の方々には左記票領に御提出下さるよう重ねて御願ひ致します。

○釀金要領  
一、釀出金 一口二百円  
口数は自由、必ず両先生別に明記

二、送金宛先 当学部千曲会  
内佐藤兩先生退官記念会  
松替口座 東京四三三四一  
又よ長野六二四三

三、締切 昭和三十一年六月三十日

四、其他 記念品又は資金の

贈呈方法は発起人に担任せ  
下さい。

蒲生 俊興  
發起人氏名（順不同）  
伊藤 武男 大平 敏彦

柳沢	延房	矢木	博
齊藤	実	武田	晃
林	貞三	土屋	茂一郎
小宮山	太助	野口	新太郎

荻原	清治	和田	晉
笠原	正巳	小林	迎美
中島	暹	北条	舒正
浦生	俊興	公村	季俊

白沢	岸	唐沢	蒲生
幹	勝弥	正平	俊野
猪坂	八木	倉沢	杵村
直一	誠政	美徳	季美

生の  
募集について

桜井 吉利 中田 太郎  
橋本 武光 永田 平

武本	山口	中島	田角	西山	金崎
本治	定次郎	茂	又十郎	市三	真英
宮城	若林	宮前	富田	尾藤	勝又
博	茂一	邦雄	治衛	省三	藤夫

竹内	善吾	山崎	寿
降旗	孝	山本友之丞	
井沢	喜三	藤本衛佐雄	
田口	亮平	北条五郎二	
細川	敏雄	中沢	喜雄
省掛	久雄	茅野	功

市川	信一	町田	博
荒木	喬	大山	融
坂口	育三	関	博夫
母袋忠工	門	横沢	正雄
秋山	利夫	戸塚	一

清水	良一	竹田	寛
有川	博	小山	長雄
工藤	栄次	松尾	卓見
公林	元一	古平	福巳

中原	齋藤	船田
武	義臣	飯夫
坂口	宮下	清水
文吾	久吉	猛

高橋	保雄	桜井	善雄
田中	一行	西山	久雄
市川	文夫	西村	善次
下川	又敬	飯島	祐介

降旗	剛寛	大槻	英雄
宮下	敏男	田中	茂光
寺田	良	柳沢	幸雄

齊藤 芳三 三谷 鮎夫  
安達 弘雄 仲村 治雄  
中島 福雄 茅野 薈  
上原 芳友

### 母校に学生後援会が発足

先頃、母校に学生の勉学や、職業指導等福祉厚生を後援する目的をもつて、学生の父兄を主体とする、信州大学繊維学部学生後援会が発足した。その役員の名簿は左の通りである。

会長 井上柳吾  
副会長 桜井吉利  
理事 遠藤要蔵、大田和夫、蒲生俊興、千村巨介、細田延一郎、山辺聖  
監事 野沢司馬作、馬場弥五郎、三浦乾太郎

### 特別活動資金について

特別活動資金については、各支会長を始め、全員諸兄の絶大な御協力によつて、応募申込が殺到し、中には割当が少なきに失する叫びや、相当の大金を会報等へ発表の際は匿名にして買いたいなど、篤志会員もあり現在迄に左記の通りの御献出がありました。この点厚く御礼申し上げます。就ては既に申し上げておりますように、分割払でも結構ですから、大いに御献出の程を御願ひ致します。

特別活動資金御寄附者  
(五月十五日現在)  
頭書に(2)とあるは第二回献出者)  
金四千五百円也

西村 武男(紡四)	金四千四百円也	山部金三郎(蚕三)	善亮(蚕三)
佐藤 国一(蚕四)	金三千八百円也	頼本 啓一(系四)	良芳(系三)
橋本 武光(蚕七)	金三千五百円也	中屋 正仁(〃天)	上島喜代志(紡三)
川久保 元(紡五)	金二千五百円也	萩原 秀治(化三)	野島 忠義(系七)
石坂 裕弘(系五)	金一千五百円也	栗本 正知(化三)	阿部 道夫(系五)
的場 小六(〃六)	飯島 貞雄(紡二)	小口トヨ子(教三)	新田 佳男(系三)
木内 保平(系三)	宮田鉄五郎(〃)	上野 俊文(旧教)	青井 志づ(養四)
林 秀門(系五)	手塚政 吾(〃三)	丸山 時子(紡大)	齊藤くに代(旧教)
井沢 喜三(蚕六)	神崎 碩夫(系七)	阿良川三三(紡専)	杉本 和夫(〃毛)
服部 虎雄(紡三)	横沢 平(系二)	清水教四郎(化大)	田中 義唐(旧職)
香山 清和(紡三)	竹内 正司(系三)	新野 重武(系三)	佐藤 重治(養三)
井野 正夫(〃〇)	岩下 竜哉(蚕六)	米田 俊雄(蚕三)	柳沢 潤一(紡大)
北沢 茂樹(紡六)	大谷 準人(〃七)	江田 重男(化四)	東城 功(蚕六)
井上 晴普(紡五)	金七百五十円也	大沢 室男(化六)	工藤 敦男(化六)
竹内 虎夫(蚕六)	金六百円也	筒田 義弘(紡三)	清水 三郎(紡大)
山田 次男(〃二)	佐藤 佳良(紡六)	清水 彰(蚕六)	田中 秀幸(紡大)
西原 美登(系四)	吉野 和夫(〃二)	萩原 博文(紡三)	小原 二文(化四)
飯島 正胤(蚕三)	飯島 良一(蚕三)	赤羽 寿雄(紡三)	山本 七郎(〃四)
大箸 政平(系三)	高橋 汎一(蚕六)	改正 猛(紡六)	右合計五万八千円也
金四千五百円也			累計金拾貳万四千円也

### 住所

氏名	卒業回数	氏名	卒業回数
西沢 一俊	旧 職	伊藤 勢竜	〃 四
阿部 道夫	系 二九	坂口 芳文	紡 二一
金子 光	化 三四	宇治 義春	蚕 二七
大池 欣一	化 五	鈴木 武夫	系 二三
小原 一二	化 四	根本 剛	学 系一
及川 英雄	学 蚕一	水沢 久成	蚕 三七
矢島隆之助	系 一七	天村 正夫	紡 二九
飯塚 安治	蚕 一七	依田 弘光	紡 二四
伊藤 祐七	系 二七	松野 八郎	紡 二八
伊藤 芳文	〃 二一	高村 八郎	系 二一
坂口 芳文	紡 二一	松野 輝彦	系 二一
宇治 義春	蚕 二七	西宮源三郎	〃 二九
鈴木 武夫	系 二三	東家 明秀	〃 一九
根本 剛	学 系一	角田 幸雄	〃 三八
水沢 久成	蚕 三七	藤崎 綱	〃 一七
天村 正夫	紡 二九	井原 邦雄	〃 一〇
依田 弘光	紡 二四	上野 康司	〃 二九
松野 八郎	紡 二八	奥山 健二	〃 五
高村 八郎	系 二一	鈴木 文雄	〃 一九
松野 輝彦	系 二一	鈴木 敏夫	〃 二九
西宮源三郎	〃 二九	徳田 和美	学 系三
東家 明秀	〃 一九	富永 恭一	〃 二六
角田 幸雄	〃 三八	西沢 正一	〃 二三
藤崎 綱	〃 一七	林部源三郎	〃 三一
井原 邦雄	〃 一〇	宮下 久吉	〃 三二
上野 康司	〃 二九	宮坂 敏美	〃 二七
奥山 健二	〃 五	宮沢 孝雄	〃 一
鈴木 文雄	〃 一九	安田 恵子	〃 一
鈴木 敏夫	〃 二九	旧 教	

### 移動 (三一・五・二六現在)

新住所  
東京都教育大学理学部植物学教室(東京都文京区大塚窪町)  
幌別町役場(北海道幌別郡幌別町)  
北海道大学医学部薬学科勤務(札幌市)  
療養中・小諸療養所(長野県小諸市)  
小原商事株式会社(岩手県加賀郡私村)  
旧姓小宮山を及川と改姓・其他従前通り  
昭栄製糸・本庄工場工務課長(埼玉県本庄市)  
秋田県蚕業試験場長(湯沢市東松沢)  
療養中・国立宮城療養所十七病棟(宮城県亘理郡山下村高瀬)  
岩手県一ノ関市に移転  
自営・大阪市住吉区東加賀屋町二丁目七五  
日東紡績・富久山工場長(福島県郡山市富久山町)  
戦死(昭和二〇・一一・三〇)中支武昌方面にて  
笠原製糸・大井工場(山梨県中巨摩郡甲西町七八〇)  
農林省蚕業試験場松本支場(松本市四ツ谷町)  
日東紡績株式会社(東京都中央区八重洲通り六ノ二)  
群馬県碓氷郡安中市大字安中四六三二  
蘇東興業K・K・本社(愛知県尾西市三条)全上社宅  
昭栄製糸・下諏訪工場長(長野県諏訪郡下諏訪町)  
江見中学校(千葉県安房郡江見町)(住)館山市上須賀宮城農産検査所長(仙台市長町笠見二)  
松徳女学院(松江市)(住)松江市東朝日町一五一ノ五  
埼玉製糸・本社工務課長(浦和市)  
鐘は須の誤り・成田市駒井野八九八  
伊藤重次法律事務所云々を消去  
日本乾燥機株式会社(東京都豊島区池袋一ノ六六四)  
(住)東京都中野区新井町二二六  
日本輸出生糸保管会社(横浜市市中区北仲通り希蚕ビル内)  
通産省機械検査課(東京都千代田区三年町)  
ツチヤ写真館(東京都墨田区大平町三二一)  
(住)千葉県柏市豊四季一四九(勤務先前通り)  
昭栄製糸福島蚕種製造所次長兼養蚕課長(伊達郡保原町)  
自宅(東京都大田区池上徳持町五四)  
勤務先前通り(住)東京都足立区日ノ出町一ノ三三五  
四丁目五三番地)  
レナウン商事K・K・大阪支店(大阪府東区北久太郎町療養中・須坂療養所(長野県須坂市)  
(住)を恵子と改める(東京都荒川区三河島町一ノ二八〇八)

會費領收		五月十五日現在	
昭和三十一年度會費金貳百圓	井上一郎(糸五)	昭和三十一年度會費金貳百圓	佐藤 國一(糸四)
坂 求(糸九)	五島小太郎(糸一五)	金崎 真英(糸九)	片山 文一(糸二九)
橋本 和夫(糸六)	北沢 隆治(糸三五)	塩沢 長(糸大二)	佐藤 正(糸三五)
水田 利久(糸別一)	伊藤 周一(糸別三)	水谷 宏三(糸二二)	大井 正夫(糸二〇)
町田 博(糸二一)	松尾 介石(糸三)	柳沢 千代茂(糸二二)	馬場 慎(糸七)
土屋 賢一(糸二)	西沢 寛夫(糸七)	山崎 光寿(糸九)	西原 美登(糸四)
未納會費納入者	金壹千貳百圓也	上島喜代志(糸二〇)	金壹千圓也
遠藤 利治(糸三一)	金九百圓也	富永 暉(糸二六%)	戸田 耕三(糸七)
山岡 弘武(糸三七)	金七百圓也	青井 志づ(糸四)	清水 洗(糸二〇)
岩下 龍哉(糸一八)	大鶴 昭(糸二六)	松本 一二(糸一六)	茂夫(糸三六)
金五百圓也			

五月十五日現在

金四百円也  
竹内 虎夫（九）  
金貳百円也

編集後記

永田	利久	(蚕別二)
桜井	周一	(農一)
伊藤	大造	(蚕別三)
水谷	宏三	(〃)
町田	博	(紡二)
松尾	介石	(化三)
柳沢	千茂	(〃)
馬場	慎	(七)
西沢	寛夫	(〃)
土屋	貢一	(二)
山崎	光寿	(九)
佐藤	少江	(教六)
高橋	令子	(〃)

入会金完納者

宮川	英一	(蚕大二三)
清水	三郎	(紡大二三)
横内和	多良	(糸大四)

会報の毎月発行を企図し、こゝに三回目、五六号をお届けします。只今、第三種郵便物としての認可を申請中ですが、本会報がこの適用を受けるためには、繊維業界や学の動向・研究に関する記事多くする必要がある様です。十二頁建てを原則としてますので紙面の余裕はかなあります。往年の健筆家諸につまいてどしどし御投稿います。

編集技術についても気付れたことがありましたら御慮なく御教示願ひ、われらの会報をより充実にさせていただきますと思います。(中原記)

編集理事	田口 亮平
編集部総務	小山 長雄
編集部員	石川 博
	古平 福紀
	土藤 半平
	木屋 幾雄
	今井甲子男
	田中 茂光
	西村 善次
	中原 武